

「ホタルキャンドルナイト」(柿沼堀)で第38回公演

6月11日(日)、今年も行ってきました。3回目のお呼ばれです。

前日(10日)夜半に降った雨も上がり11日は少し肌寒い日でした。今年で4回目の柿沼堀周辺で催される「蛍を飛ばそう」会、今年も蛍の自然発生の気配もなく悲しいかな、100匹のホタルを購入して子供たちが放流しました。

去年までは源氏蛍、明るさがあり華やかさもありません。今年では平家蛍、大きさ、明るさが全然違い少し寂しい感じを受けました。蛍に「悪いかな！失礼いたしました。」



鯨井自治会長のご挨拶

6:00から挨拶が始まり、自治会長さん、議員さん、その他名士の面々が紹介され、6:15頃から演芸が始まりました。

まず、バルンアートの人が沢山の風船を作り、子供たちにわかる歌を弾き語り、舞台の上にも子供たち・・・皆風船が好きですね。皆楽しそうです。



次に玉すだれ・・・野外の為声は通らず、基本の口上は座長がマイクで踊らず詠いました。

きよしのズンドコはカセットの音が飛んで大変でした。

玉すだれは、衣装8分、技2分とも言われているので目的は達成！でも残念でした。良い経験になりました、これからは場所なりの音響も考えねばなりません。



ミッキーマウスもよくできたかな！

外も暗くなり道の両側にはバケツの手作り行燈、竹を利用し沢山の穴をあけたオリジナルの行燈、また堀の水面には、いかだの上に行燈、皆に火が入ると何とも言い難い幻想的な光景になりました。



竹細工のオリジナル行燈



そして民謡踊り、オカリナ、フラダンスなどがありました



最後に暗くして蛍の放流・・・子供も、大人も、大騒ぎ、大はしゃぎ、祭りは楽しいです。

後記(何故柿沼堀に毎年行くの?)

場所は熊谷バイパス北、大幡のバス停付近。

ふる伝で六堰のグループ学習をしたときこのクラスの同級生にお世話になり用水の(堀)お手伝いを有志で
する事になりました。この用水は末端に近いので、水量はかなり制限されているのが問題なのです。

もう4年目に入りました。月2回、仕事は竹藪の整理、堀、池周辺の草取りが主な仕事、いつも草に負けてい
ます、去年迄は沢山鯉もいましたが鳥にやられたみたいで、今年は大きな鯉が2~3匹いる程度です。

この会は、地元の高高年が中心で、昔はスケートが出来る思い出の大きな池があったそうです。

いつしか用水も荒れ、池も小さくなり、自分達が年を取り気が付けばこの有様、そこで、皆でいつか蛍が
飛べるぐらいきれいな水辺に整備しようと立ち上がり、色々挫折しながらも、色々な補助金も活用しながら、
地元の為、孫の為、自分の健康の為老若男女を問わず、空いている時間で整備をして、年々盛大に大き
なっています。

そのお手伝いをしている繋がりでもらせて頂いています。本当に皆さん素朴で良い人ばかりですよ。
今年も沢山タケノコを頂きました。

(記: 難波 道子)